

白峰小学校 読み聞かせの取組

子どもたちが色々な本に出合うきっかけとなるように、取り組んでいるものの中に「読み聞かせ」があります。

ボランティアの読み聞かせ(毎月の最終週の木曜日)

地元白峰の「ギラウラ民話の会」や「緑のふるさと協力隊」の方が行っています。「ギラウラ民話の会」は白峰の方言「ジゲ弁」を使って地元の民話を、

手作りの紙芝居で紹介くださり、子ども

たちが「ジゲ弁」を身近に感じるきっかけになって

います。「緑のふるさと協力隊」の方は季節に合った絵本などを読んでくださいます。



6年生の読み聞かせ(年3回の読書週間で朝読書の時間に行う)

白峰小には図書委員会はありません。そのため、6年生が全校児童に読み聞かせを行っています。下級生たちはこの読み聞かせを聞いて、「6年生になったら自分もこんな風に読みたい」という想いを抱いています。また、様々な発表の場での話し方のヒントになったりもしています。

= 6年生の感想 =

「今日、みんなに読み聞かせをして、とても楽しかったです。みんな、とても私の読み聞かせをよこんで見てくれてよかったです。とても、家で、ハキハキ、ゆっくり、しゃべるのを練習して声がガラガラだったけど、練習したことができたのでうれしいです。」



英語の本の読み聞かせ(ALTの先生が年3回の読書週間で昼休みに行う)



簡単な英語の本(原作が日本語、外国語を問わず)の読み聞かせを行っています。全校児童が対象ですが、お話(英語)がわからない下級生に上級生が説明する姿がよく見られます。

先生読み聞かせ隊(読書週間前の金曜日の朝読書の時間、各回2名ずつ)

読書週間が始まることの意識づけで低学年と高学年に分けて行っています。どの先生が行うのかは秘密にしてあるため、子どもたちはワクワクしながら待っています。



この他、司書と有志の先生による読み聞かせ(毎月第一木曜日の朝読書の時間)も行っています。様々な読み聞かせを取り入れることで、「本を自分でも読んでみよう」「読み聞かせをしてみよう」「ほかにも自分が読みたい本があるかな」と読書への興味がどんどん広がっています。

学 校 図 書 館 訪 問 記

11月14日(木) 東明小学校訪問

11月29日(金) 石川小学校訪問

特別支援学級の道徳の授業を見学させて頂きました。両校とも終末に内容項目に関連する絵本の読み聞かせを学級担任や学校司書が行っていました。じっと聴き入っている姿を見て、絵本の持つ力を改めて感じました。



読み聞かせする絵本は、担任と学校司書が相談して決めました。

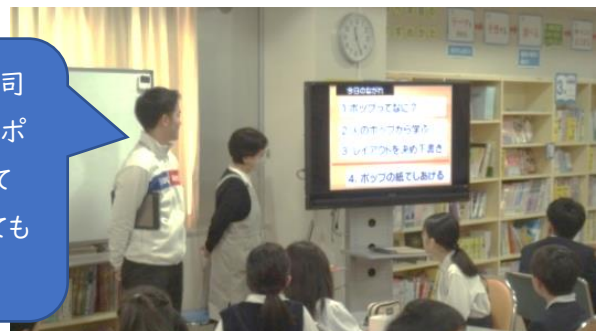


今年度の学校図書館訪問が終了しました。お忙しいところ、お時間をいただき、誠にありがとうございました。工夫を凝らした取り組みや、先生方と連携した授業実践を見せていただき、感謝しております。

11月27日(水) 旭丘小学校訪問

4年国語「本のポップや帯を作ろう」の授業を見学させて頂きました。近隣の中学校で作成したポップを見本として示しながら、ポップ作成のコツを考えました。学級担任と学校司書がしっかり打ち合わせをし、連携の取れた授業でした。自分たちが進学する中学校の生徒が作成したポップを見本としたことも良かったです。

今から学校司書の先生にポップについて詳しく教えてもらおう!



中学生のポップが見本

利 用 指 導 参 観

松陽小学校で行われた5年生の年鑑の利用指導を参観しました。



学級担任と学校司書の連携が上手く取れた授業でした。子どもたちの学びに向かう姿が素晴らしかったです。ぜひ今後、年鑑を利用して、統計資料の読み取りをする力が教科の学習の中に活かされることを期待します。